

# 施策マネジメントシート(2019年度の振り返り、総括)

作成日 2020 年 6 月 18 日

基本目標	V	地域をささえるひとづくり	主管課	名称 観光商工課 課長 高野 明夫
施策	25	交流連携の推進	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名		対象	意図
			基本事業名	基本事業名		
①町外の人・団体 ②町民		町に魅力を感じ、相互のまちづくりに協力する。	1	交流連携機会の創出	町内外の人・団体	幅広い分野に交流機会を提供する。
			2	交流連携の強化	交流連携している町内外の人・団体	交流人口を増やししながら、信頼関係を深化させる。
			3			
			4			

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提携団体数を増やすことから、交流事業内容の深化へと考え方をシフトし、密な交流が図れるよう検討します。</li> <li>・交流をおこなう双方にとって効果的な交流のあり方を考え、実行に努めます。</li> </ul>
---------	---

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	いずれかの団体と友好協定や連携協定を締結していることを知っている町民の割合	%	実績値	実績なし	54.0	53.7
				目標値	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0
				B	友好協定を締結している団体と交流したことがある町民の割合	%	実績値	実績なし	5.9	7.8
				目標値	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0
				C	友好協定都市住民でみなかみ町を知っている人の割合	%	実績値	実績なし	-	-
				目標値	65.0	70.0	70.0	75.0	75.0	80.0
				D	友好協定都市住民でみなかみ町を訪れたことがある人の割合	%	実績値	実績なし	-	-
				目標値	5.0	10.0	10.0	15.0	15.0	20.0
				E						
				実績値						
				目標値						

指標設定の考え方と実績値の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは、みなかみ町が以下の企業や自治体等と連携協定や、友好都市協定を締結していることを知っていますか。→「はい」と回答した人の割合</p> <p>B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは、友好都市との交流事業に参加したことがありますか。→「はい」と回答した人の割合</p> <p>C) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。 交流イベントの際にアンケートを実施して把握</p> <p>D) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されていると考えられるため、成果指標とした。 交流イベントの際にアンケートを実施して把握</p>
-------------------	--

目標値設定の考え方	<p>A) これまでの連携協定・友好都市協定の締結や、交流活動等が今後徐々に町民に知れ渡っていくと推測し、2022年度には2人に1人が認識していると考え、目標値を50%とする。</p> <p>B) 連携協定・友好都市協定の締結が広く知れ渡るにより、自ら交流しようと行動に移す町民が微増していくと推測し、2022年度には5人に1人が何らかの交流に取り組むと考え、目標値を20%とする。</p> <p>C) 友好協定都市との交流イベントには継続的に取り組んでいることから、友好都市住民には広く認知されていると推測し、2022年度には80%を目標とする。</p> <p>D) 交流イベントに積極的に取り組んでいることにより、本町を訪れようと行動に移す友好都市住民が今後微増していくと推測し、2022年度には5人に1人が来訪したことがあると考え、目標値を20%とする。</p>
-----------	--

施策のための目的・目標達成	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流事業に積極的に参加し、交流相手に町の魅力等をPRする。</li> <li>・交流事業をきっかけに知り合った相手や団体等との交流を継続させ、参加していく。</li> </ul>	<p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民及び町内の団体等に対し、交流する機会を提供し、交流事業を支援する。</li> <li>・交流を通じてまちづくりを積極的に行う、または関心を持つ人材を育成し、人的ネットワークを構築する。</li> <li>・交流が継続し、より発展していくよう支援する。</li> </ul>
---------------	--	---

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既締結団体等との交流内容がモノの交流からヒトの交流に変化しつつある。具体的にはモノを介した事業者同士のマッチングから派生して人的な交流の輪への広がりを見せている。</li> <li>・海外との交流は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、インバウンドは壊滅的な影響を受けている。</li> <li>・日本国内においても、外出自粛などの影響を受け、交流の機会も失われている。</li> </ul>	<p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾台南市へは多くの町民が「町民旅行」を利用して訪問し、交流を深めており、今後も継続して交流が図られることが望まれている。</li> <li>・国内の自治体に関しては、観光・物産の交流に留まらず、環境や文化などの分野での交流が望まれている。</li> <li>・議会からも活発な交流を継続して欲しいとの声がある。</li> </ul>
-----------	---	--

施策	25	交流連携の推進	主管課	名称	観光商工課
				課長	高野 明夫

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①いずれかの団体と友好協定や連携協定を締結していることを知っている町民の割合は、平成30年度53.7%、和元年度55.2%で1.5ポイントの増となった。 ②友好協定を締結している団体と交流したことがある町民の割合は、平成30年度7.8%、令和元年度は6.6%で1.2ポイントの減となった。 ③友好協定都市住民でみなかみ町を知っている人の割合は、平成30年度まで実績値を把握していなかったため、比較できないが令和元年度87.5%となった。 ④友好協定都市住民でみなかみ町を訪れたことのある人の割合は、平成30年度まで実績値を把握していなかったため、比較できないが令和元年度69.1%となった。 ※連携協定を締結している団体と協定締結年度 東京藝術大学(平成20年度)、デサントジャパン株式会社(平成23年度)、三国コカ・コーラボトリング株式会社(平成24年度)、オークヴィレッジ(平成30年度)、JR東日本企画(令和元年度) ※友好協定を締結している団体と協定締結年度 さいたま市(平成16年度)、取手市(平成21年度)、聯合国際学院(平成22年度)、東京都中野区(平成24年度)、台湾 台南市(平成25年度)、長栄大学(平成25年度)、麗澤大学(平成27年度)、三宅村(平成28年度)、伊奈町(平成29年度)
		② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。
	③ 目標の達成状況		<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。

基本事業の成果指標	基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度				
					1	交流連携機会の創出	A 交流事業の回数	回	実績値	28	46	28	38		
										目標値		28	28	28	30
		B		実績値											
					目標値										
2	交流連携の強化	A 交流事業への町民の参加者数	人	実績値	160	169	124	189							
					目標値		160	160	170	170	180	180			
		B		実績値											
					目標値										
3		A		実績値											
					目標値										
		B		実績値											
					目標値										
4		A		実績値											
					目標値										
		B		実績値											
					目標値										

今後の課題と取り組み(案)	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)	
	1	交流連携機会の創出	①企業との連携事業における町民参画の機会提供 ②友好都市との交流事業における町民参画の機会提供 ③新型コロナウイルス感染症の蔓延により人的交流が安全に行えない状況である。	①連携企業との取り組み活動を町民に広報し、イベント等への積極的な参加を促す。 ②友好都市のイベント情報等を町民に広報し、友好都市との交流事業へ町民の積極的な参加を促す。 ③友好都市の住民に対し、道の駅を中心とした農産物直売所の地場産品について、ネットショップによるPRを強化する。
	2	交流連携の強化	①企業との連携事業を町民や相手先企業内へ啓発する取組 ②新型コロナウイルス収束後、友好都市との交流事業について物産交流から人的交流への拡大	①連携企業との取り組み内容を広報等の媒体を使って周知する。相手側企業内においても「みなかみ町」を知ってもらう方策、取組について検討いただくよう依頼する。 ②観光・商工分野を中心に友好都市の事業者と町内事業者の事業者交流の場を提供する。各種イベント等においてMINAKAMI HEARTカードの普及をおこない、町への訪問を促す。
	3			
	4			

## 25\_交流連携の推進

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000001		町のうた推進事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	44,000 円			
施策体系	施策	25	交流連携の推進				新町5周年を迎えるに当たり、町民から歌詞を公募し、平成21年10月に町の歌を制作した。この歌は同年、条例で町歌として制定されている。曲名は「ふる里みなかみ」と「心の旅」である。	特になし	事業実績				
	基本事業	01	交流連携機会の創出						PR活動回数				
根拠	無	組織	観光商工	課	観光交流	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H 21 ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	7			
							親善大使を使ったPRイベントは費用が掛かるという問題がある。解決策の一つとして、別の媒体を利用して、うたを広めていくことが考えられる。	条例で定める町の歌として広めていく	1	1	回		

令和 元 年 8 月 13 日作成 (令和 2 年 6 月 10 日更新)

事務事業	000003		地域連携事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,192,714 円			
施策体系	施策	25	交流連携の推進				①北関東・新潟地域連携軸推進協議会への参加	・関連事業の視察へ参加 ・台風19号による被災自治体へ物資の供給を実施	事業実績				
	基本事業	01	交流連携機会の創出						研修会、意見交換会				
根拠	無	組織	観光商工	課	観光交流	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H 1 ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	8			
							北関東・新潟県地域との連携	関係自治体との連携強化	2	2	回		

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 30 日更新)

事務事業	000004		全国源流の郷協議会参画事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	50,000 円			
施策体系	施策	25	交流連携の推進				源流の持つ豊かな自然環境の保全に務めるとともに、源流資源の役割と機能を広く国民に訴え、国民的な理解を広げる。会員市町村等との交流連携を進め地域振興を図る。協議会設立日：平成17年11月30日(現在)会員：16市町村、協賛会員1団体	全国源流の郷協議会総会や勉強会に参加。情報誌「源流生命のみなもと」への掲載を行った。	事業実績				
	基本事業	01	交流連携機会の創出						協議会等出席回数				
根拠	無	組織	観光商工	課	観光交流	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H 17 ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	7			
							加盟団体は関西から九州まで点在しており、事業実施場所が遠隔地であることが多く、なかなか参加できない。	加盟団体との連携を促進するため、各事業へ積極的に参加する。	2	2	回		

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 30 日更新)

事務事業	000005		全国水源の里連絡協議会参画事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	30,000 円			
施策体系	施策	25	交流連携の推進				過疎・高齢化が進行し、地域活動が困難な状況に直面している集落が全国各地に拡大し続けている。国民運動として展開することで、地域振興と地域づくりに資する。協議会設立日：平成19年12月1日(現在)会員：約170市町村、協賛団体6団体、連携団体4団体	情報誌「水の源」購読料、協議会負担金を支出。	事業実績				
	基本事業	01	交流連携機会の創出						協議会等出席回数				
根拠	無	組織	観光商工	課	観光交流	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成30年度	令和元年度	単位		
事業期間	継続事業 H 19 ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	7			
							課題なし	協議会の各事業へ参画する。	1	1	回		

## 25\_交流連携の推進

令和 元 年 8 月 15 日作成 (令和 2 年 6 月 30 日更新)

事務事業	000006	利根川源流水源地域ビジョン事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,320,000 円						
施策体系	施策	25	交流連携の推進			ダムを活かした水源地域の自立的、持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム管理者と共同で策定する行動計画である。組織として「利根川源流水源地域ビジョン推進協議会」がある。	活動団体・ダム管理者・コンサルタント等との調整業務及び会議への出席。各種事業への支援。	事業実績							
	基本事業	01	交流連携機会の創出					協議会等出席・開催回数							
根拠	無	組織	観光商工	課	観光交流	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業 H - ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	7	事業を進める上で国へ事業予算を確保することが求められる。また、コンサル委託費の予算を町に一括交付金(補助金)としてイベント助成してもらおう方法を協議することも考える。	水源地域の活性化のための新規活動の策定及び現在行われている活動を継続していく。	平成30年度	令和元年度	単位
												14-14	14-14	回	

令和 元 年 8 月 14 日作成 (令和 2 年 6 月 8 日更新)

事務事業	000007	高原千葉村施設等活用事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,346,900 円						
施策体系	施策	25	交流連携の推進			施設廃止による地域の防災上・安全安心のため平成31年2月12日本施設の土地・建物譲渡契約を締結し、平成31年4月1日に引き渡しを受けた。	保全業務を委託し、適切な状態を保った。公募型プロポーザルにより、交渉順位が決定した。所有権移転登記を済ませた。	事業実績							
	基本事業	01	交流連携機会の創出					千葉市との協議実施回数							
根拠	無	組織	観光商工	課	商工振興	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業 H 26 ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	8	施設の適切な保全と民間事業者の創意工夫による施設運営が課題である。	民間事業者と適切に協議を進め、土地・建物の貸付契約を締結する。	平成30年度	令和元年度	単位
												3	1	回	

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 16 日更新)

事務事業	000008	地域づくり事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	653,020 円						
施策体系	施策	25	交流連携の推進			賛同、参画する各種団体に負担金、補助金を支払い、団体の活動を通じて交流連携の推進を図る。平成29年度より事務事業を1本化した。	-	事業実績							
	基本事業	01	交流連携機会の創出					負担金、補助金等支払い件数							
根拠	無	組織	観光商工	課	観光交流	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業 H 29 ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	7	課題なし	-	平成30年度	令和元年度	単位
												7	1	件	

令和 元 年 8 月 16 日作成 (令和 2 年 6 月 30 日更新)

事務事業	000009	全国川サミット連絡協議会参画事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	354,980 円						
施策体系	施策	25	交流連携の推進			利根川源流である本町は水源地として5つのダムを有している。首都圏の水瓶として内外へアピール必要性から協議会へ参加し、利根川や江戸川流域の人と人の繋がりを深める。	特になし。	事業実績							
	基本事業	01	交流連携機会の創出					川サミット参加回数・参画団体数							
根拠	無	組織	観光商工	課	観光交流	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策							
事業期間	継続事業 H 30 ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	7	民間交流を促進する上で、町民の参加をどのように推進するかが課題である。	物産や民間交流の機会を増やしていく。	平成30年度	令和元年度	単位
												0-21	1-21	回・団体	

